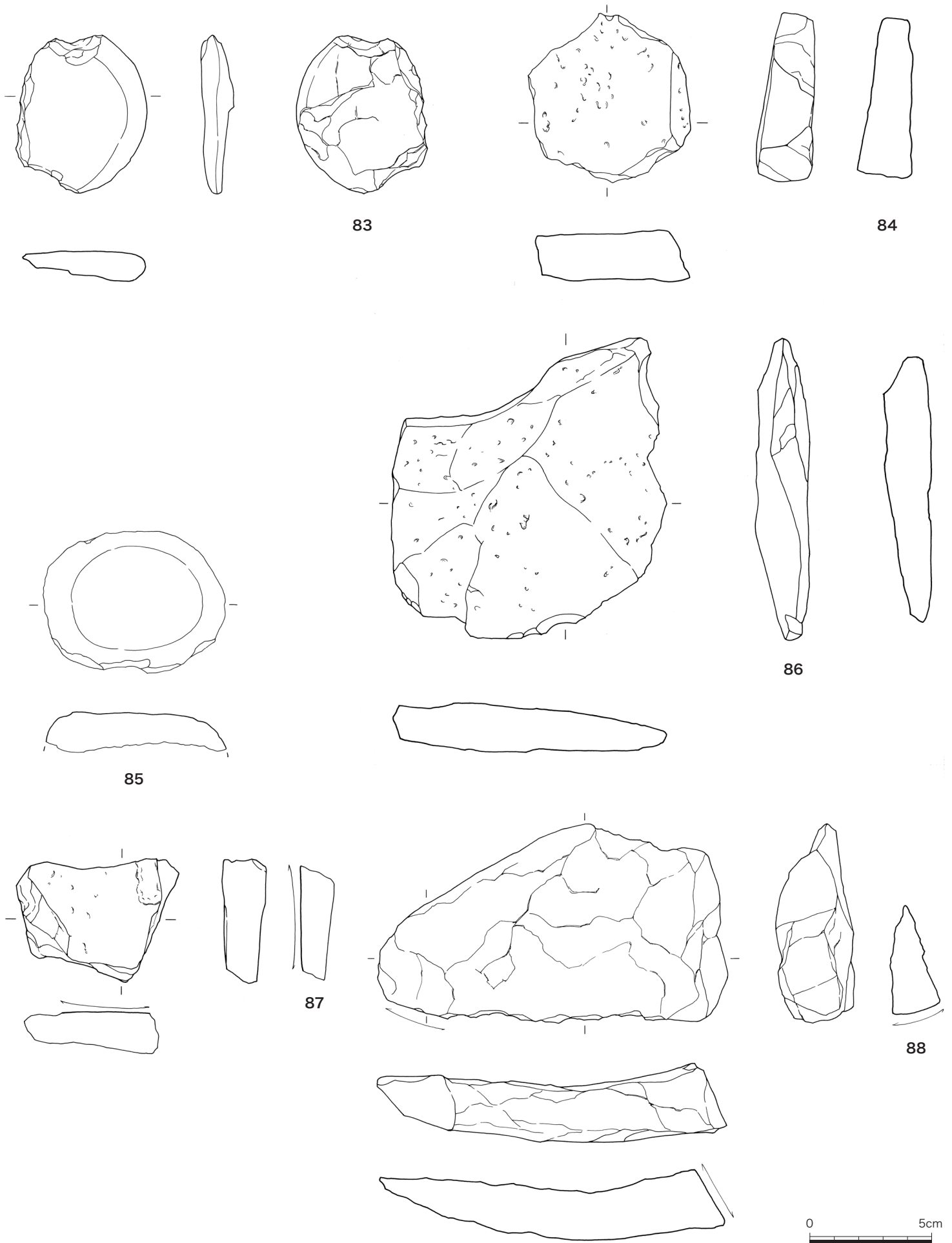
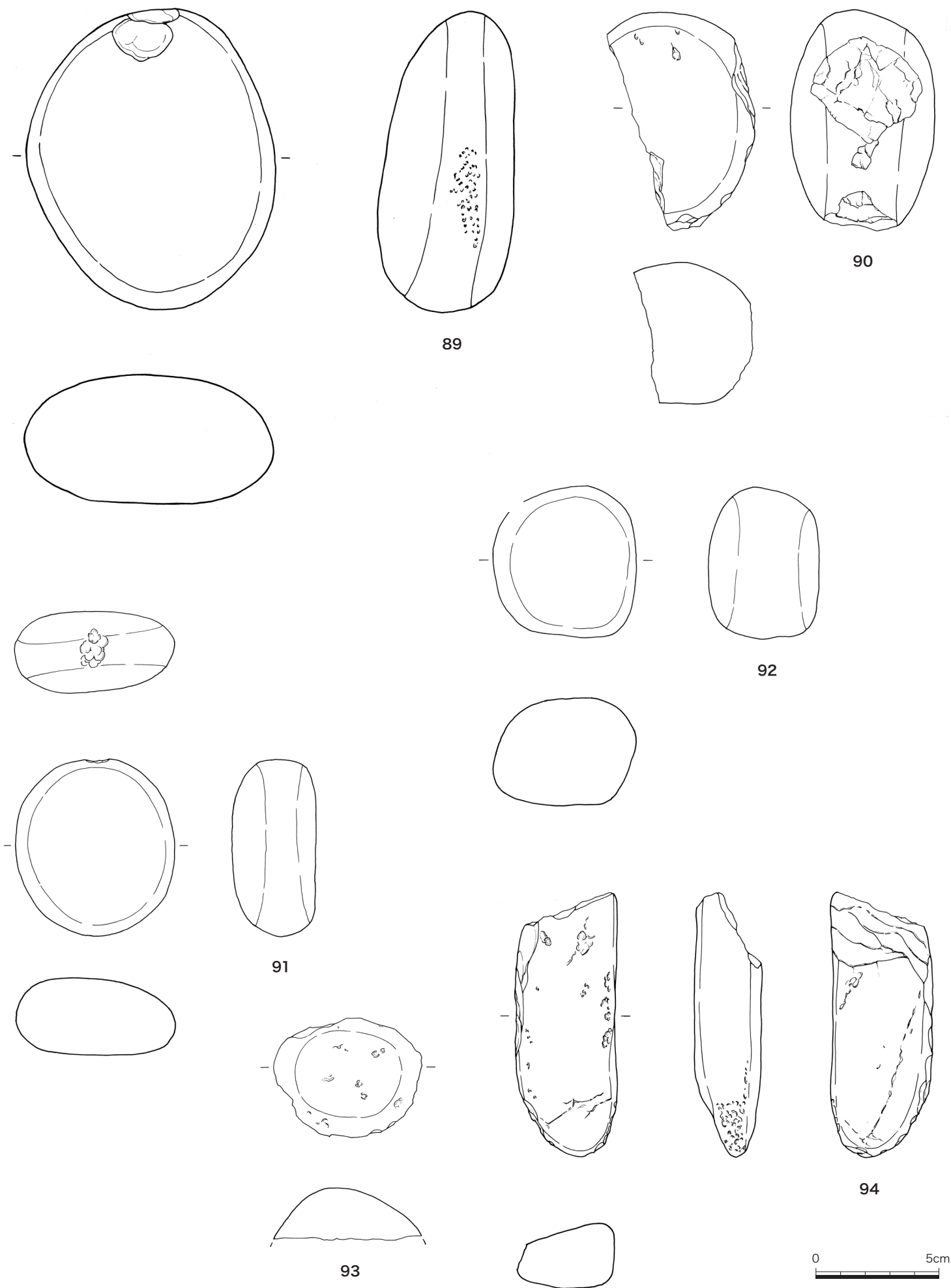

アミダ遺跡 出土石器 資料 II

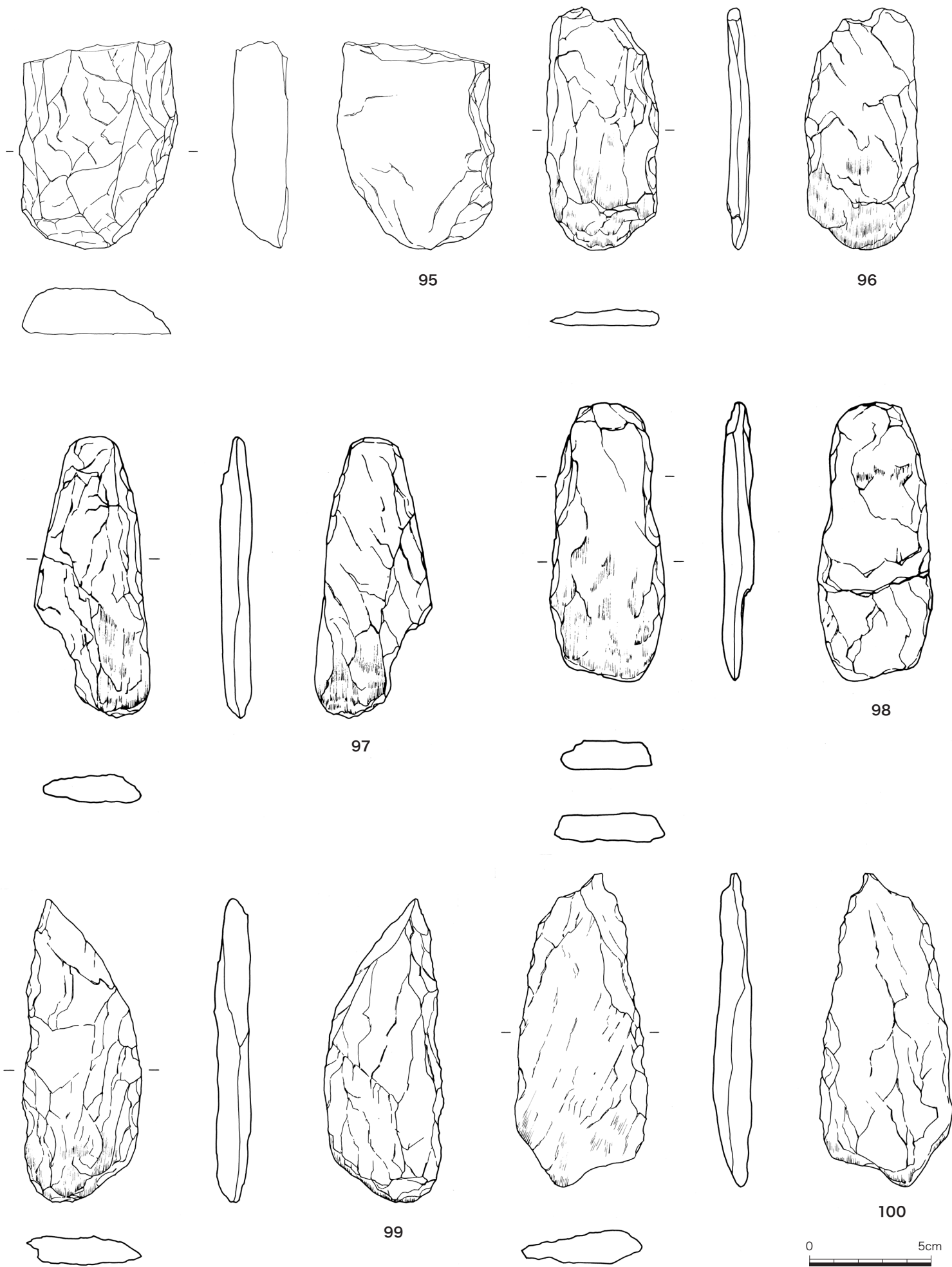
2024年3月
嘉麻市教育委員会



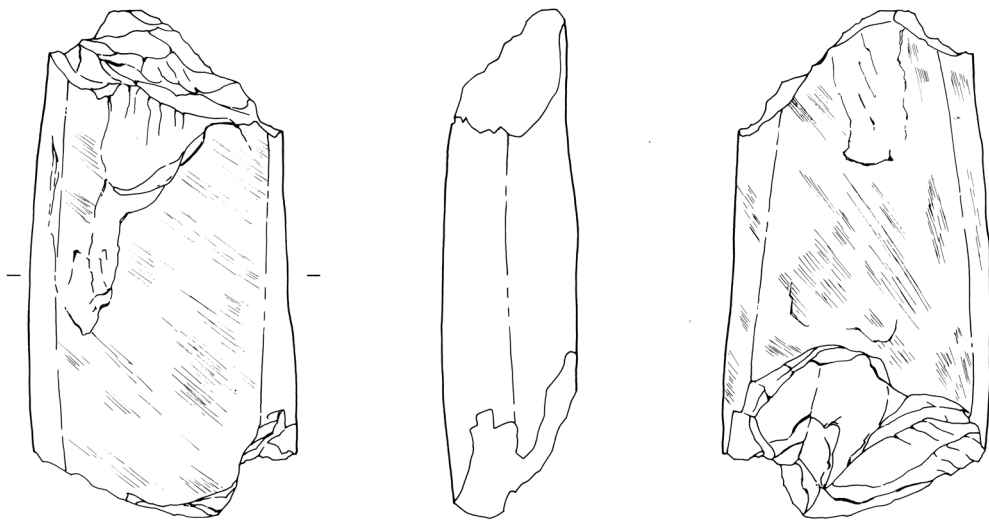
第17図 83 アミダ遺跡 A1号住居址出土 石器実測図 (1/2), 84, 85 アミダ遺跡 A2号住居址出土 石器実測図 (1/2), 86~88 アミダ遺跡 A3号住居址出土 石器実測図 (1/2)



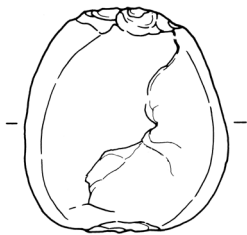
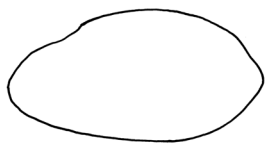
第18図 89~94 アミダ遺跡 A3号住居址出土 石器実測図 (1/2)



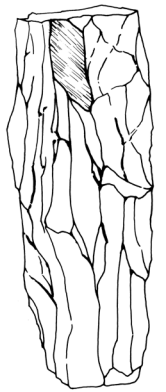
第19図 95~100 アミダ遺跡 A3号住居址出土 石器実測図 (1/2)



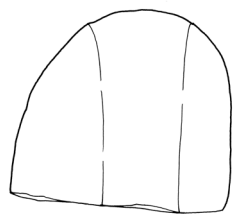
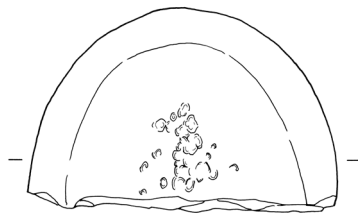
101



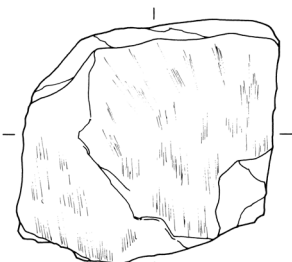
102



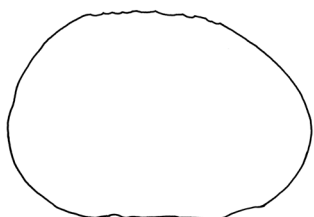
103



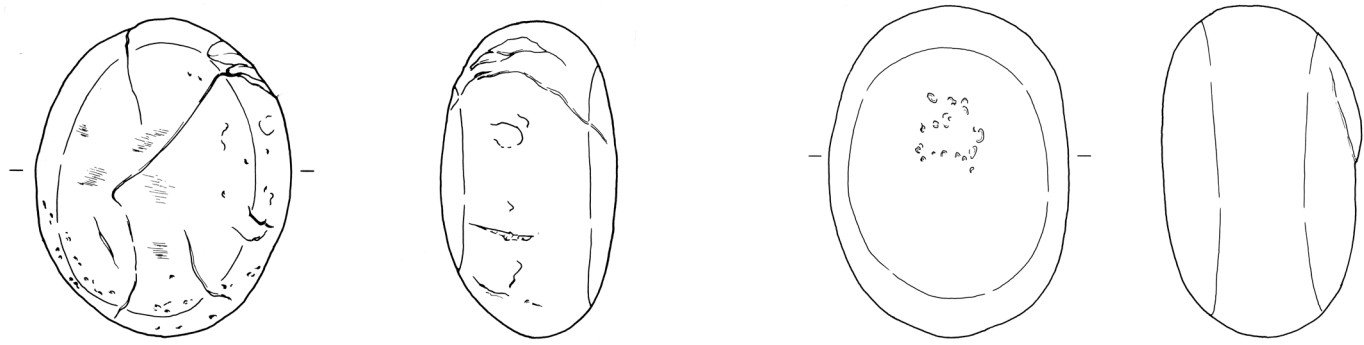
104



105

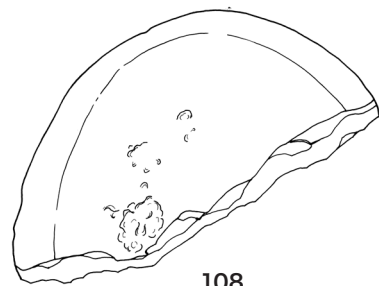
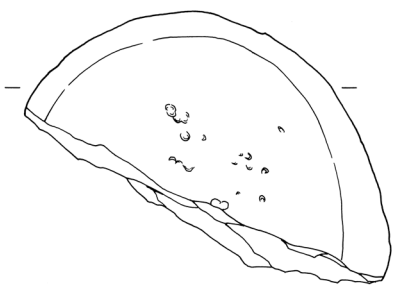
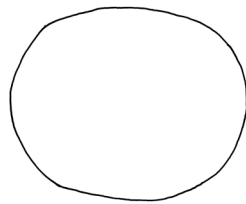
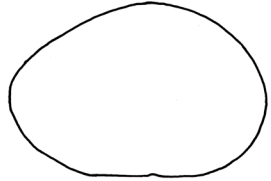


第20図 101 アミダ遺跡 A4号住居址出土 石器実測図(1/2), 102~104 アミダ遺跡 A5号住居址出土 石器実測図(1/2), 105 アミダ遺跡 A6号住居址出土 石器実測図(1/2)

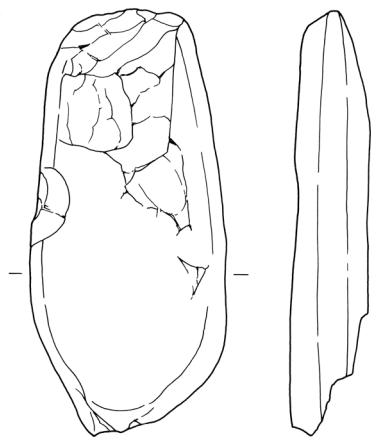
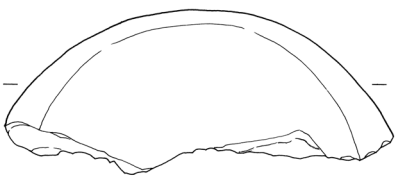
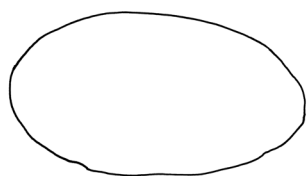


106

107

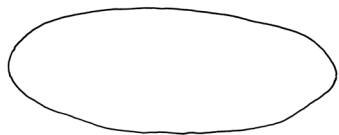


108

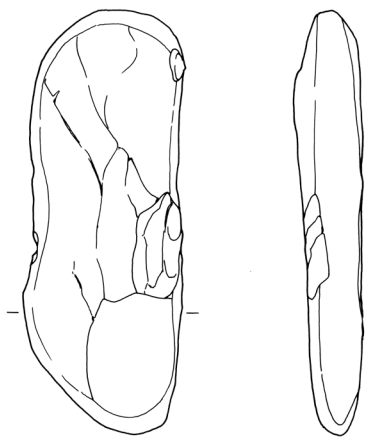


109

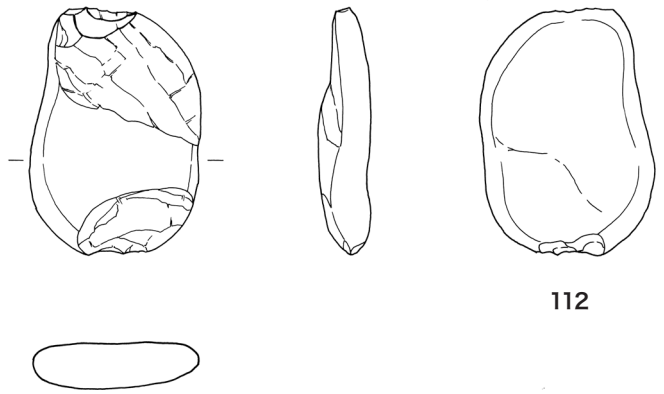
110



第21図 106 アミダ遺跡 A6号住居址出土 石器実測図 (1/2), 107 アミダ遺跡 A7号住居址炉跡出土 石器実測図 (1/2), 108~110 アミダ遺跡 A8号住居址出土 石器実測図 (1/2)



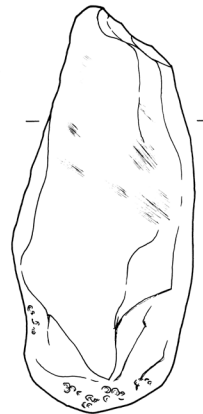
111



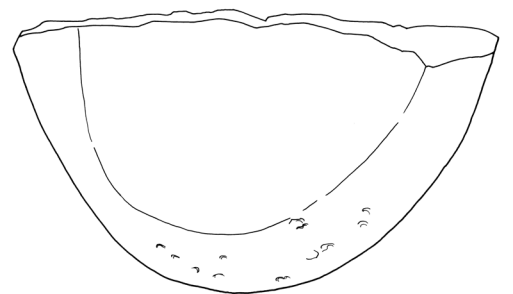
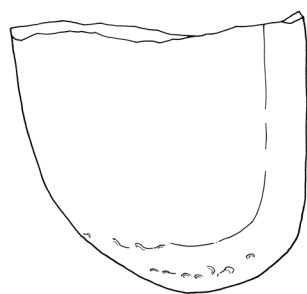
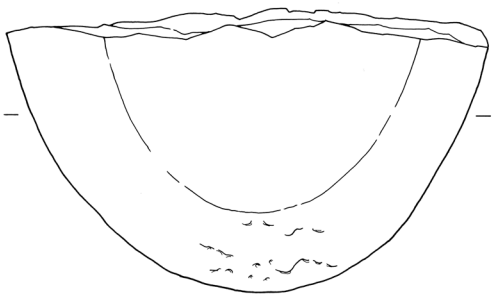
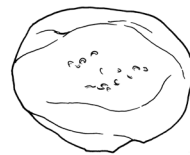
112



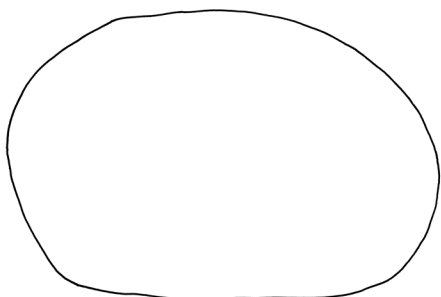
113



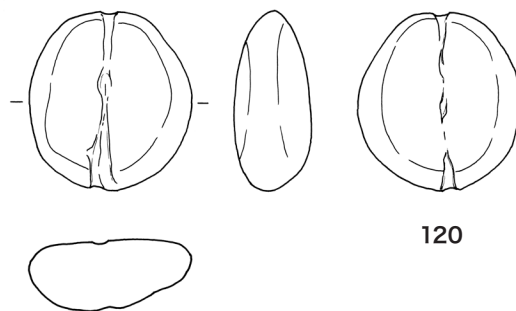
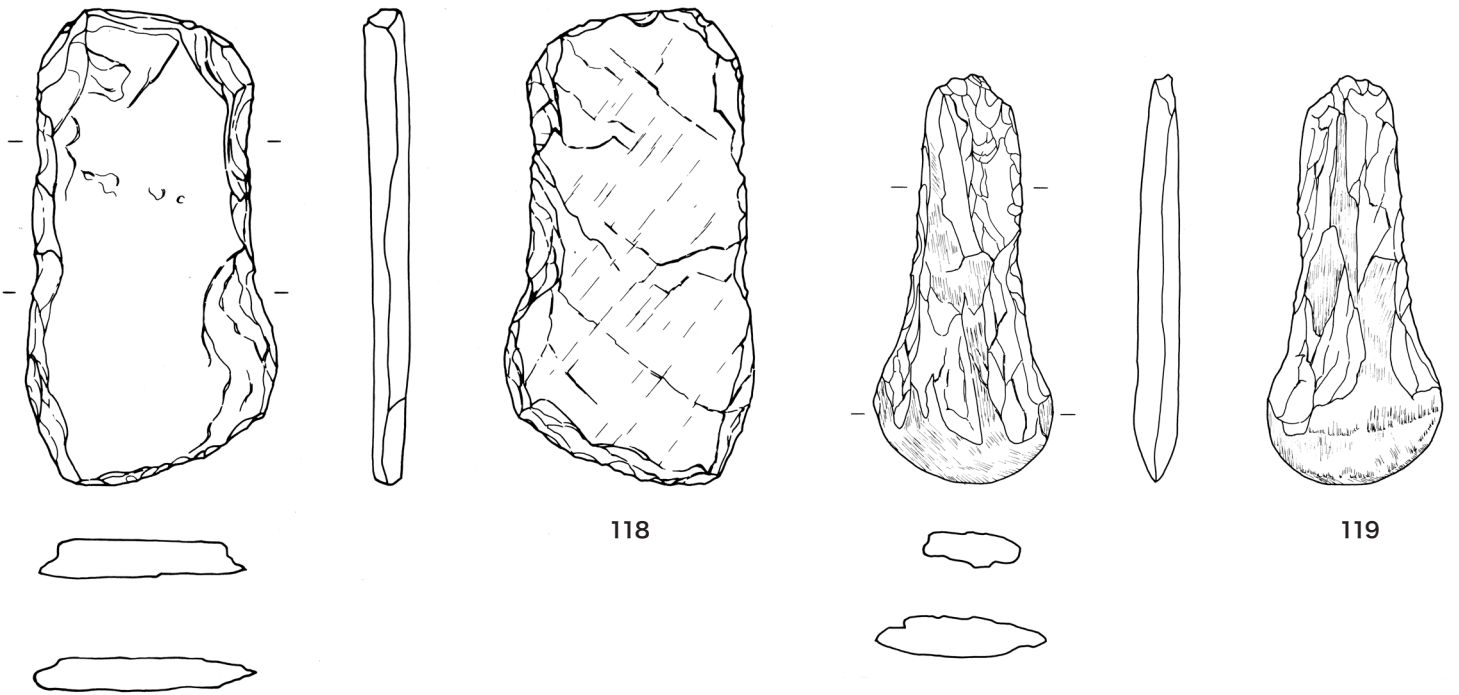
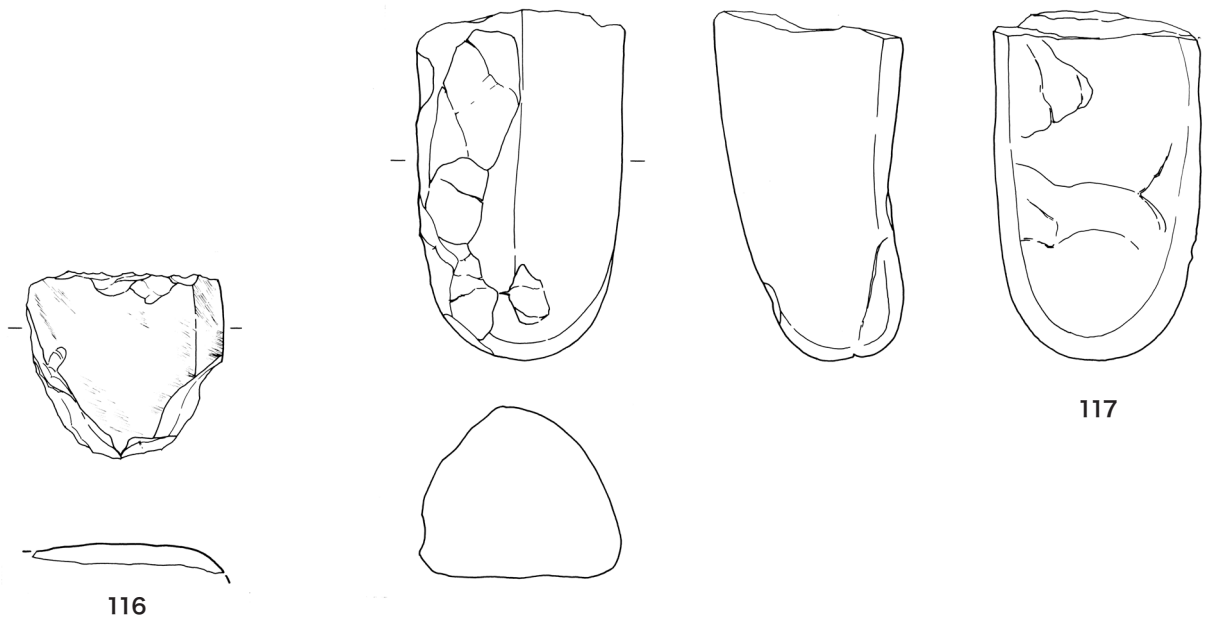
114



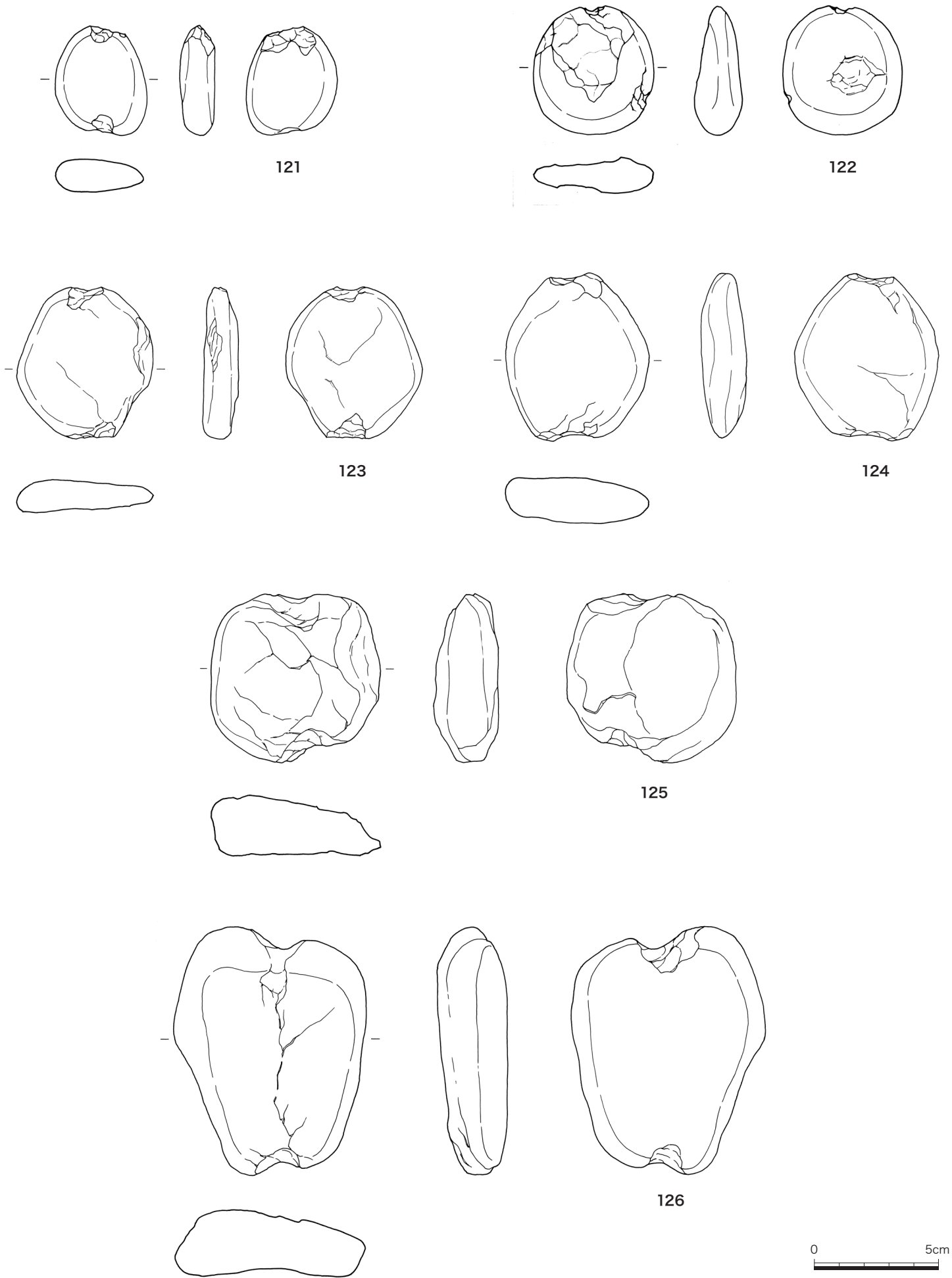
115



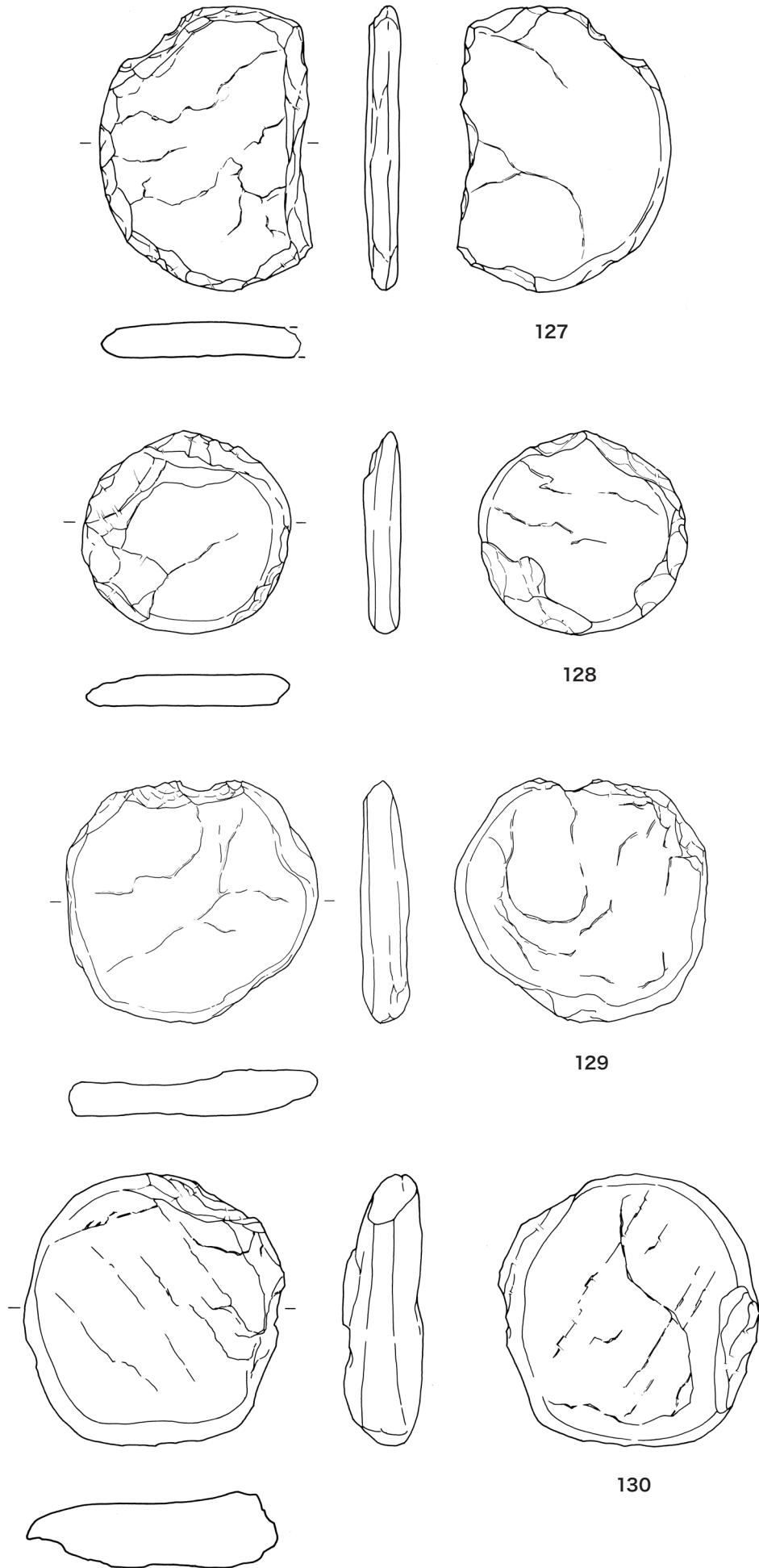
第22図 111 アミダ遺跡 A8号住居址出土 石器実測図 (1/2), 112 アミダ遺跡 A9号住居址出土 石器実測図 (1/2), 113 アミダ遺跡 A12号住居址出土 石器実測図 (1/2), 114 アミダ遺跡 A1号土坑出土 石器実測図 (1/2), 115 アミダ遺跡 A2号土坑出土 石器実測図 (1/2)



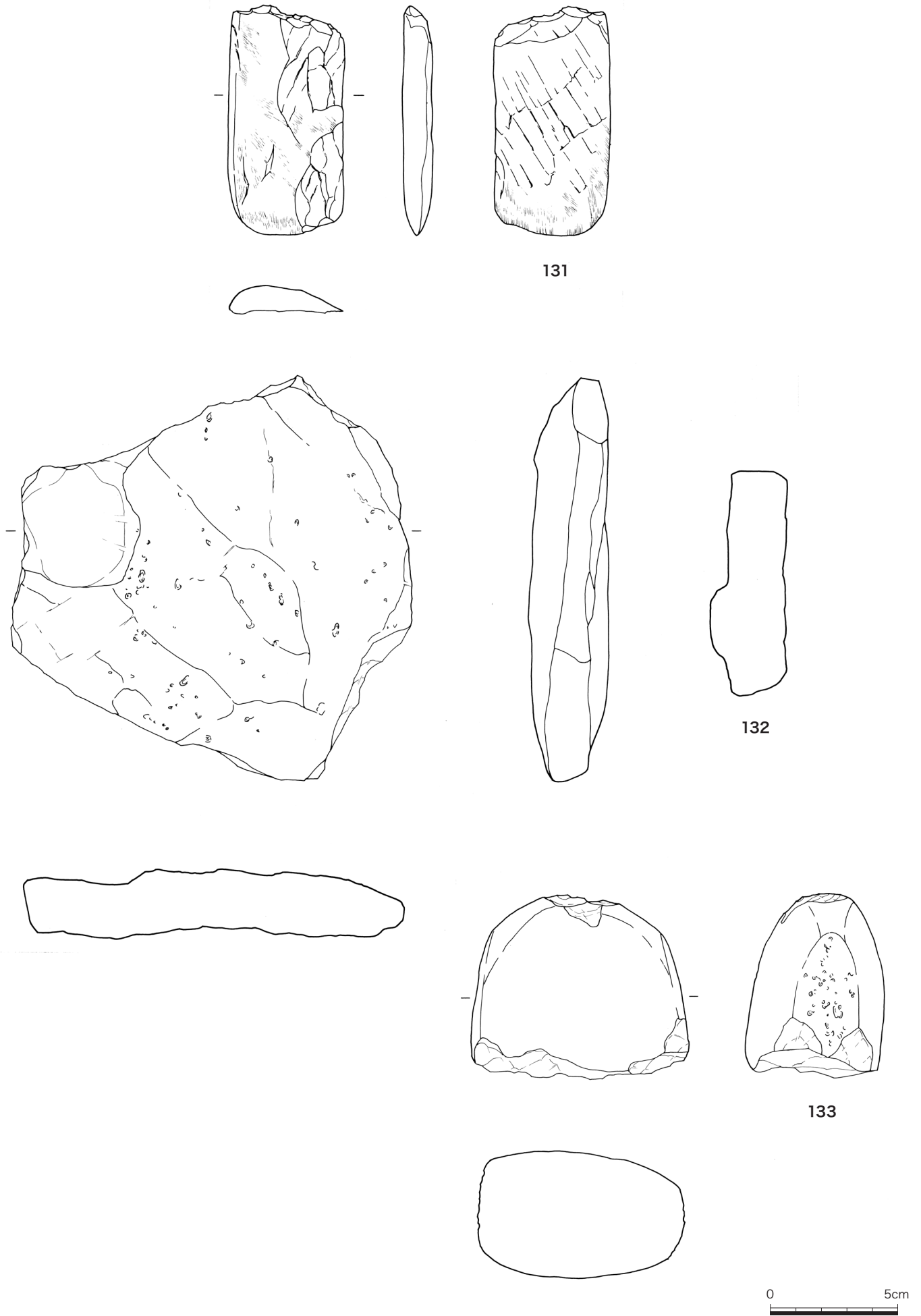
第23図 116 アミダ遺跡 A2号土坑出土 石器実測図 (1/2), 117, 118 アミダ遺跡 A20号土坑出土 石器実測図 (1/2), 119 アミダ遺跡 A45号土坑出土 石器実測図 (1/2), 120 アミダ遺跡 A包含層出土 石器実測図 (1/2)



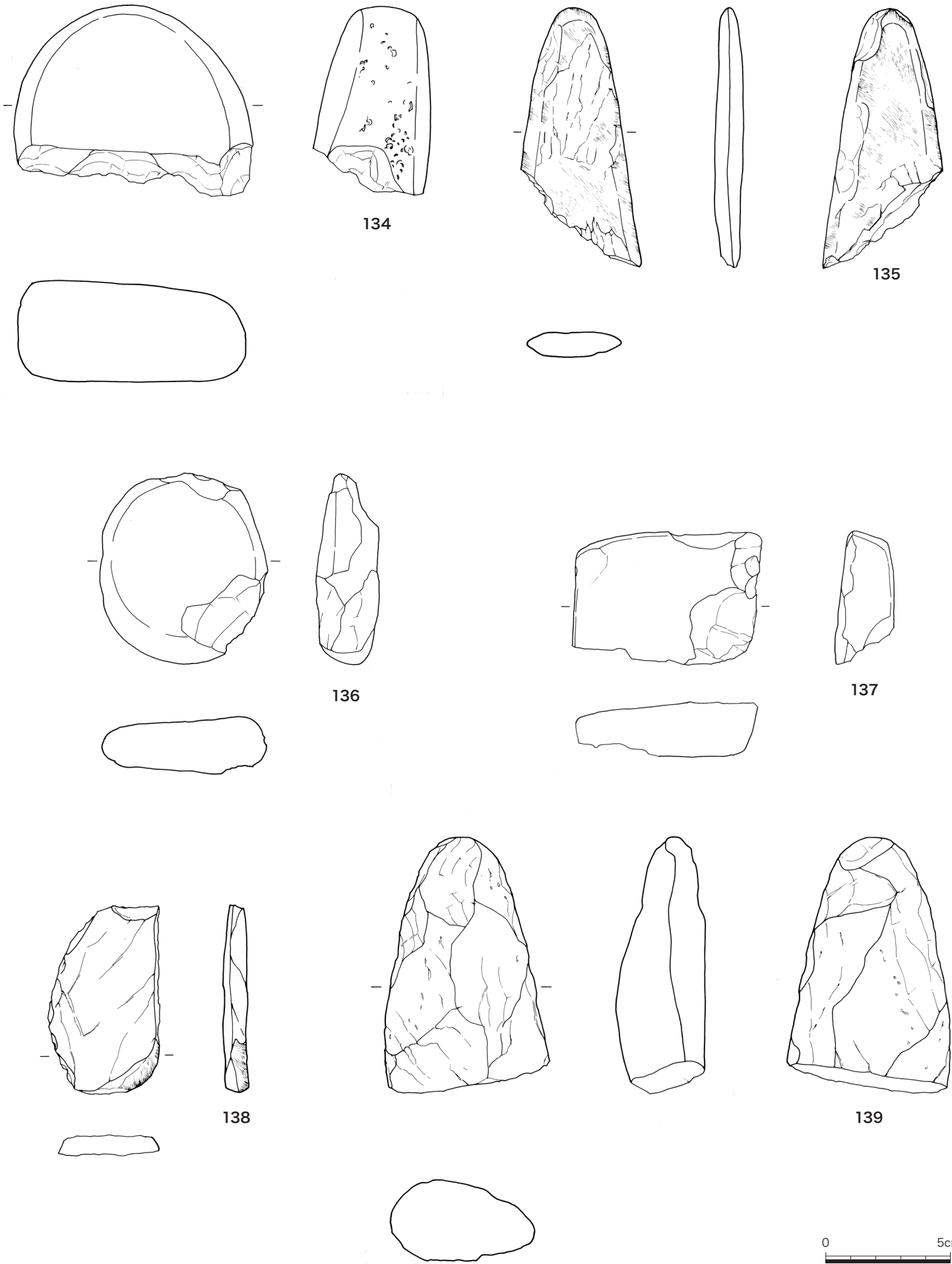
第24図 121~126 アミダ遺跡 A包含層出土 石器実測図 (1/2)



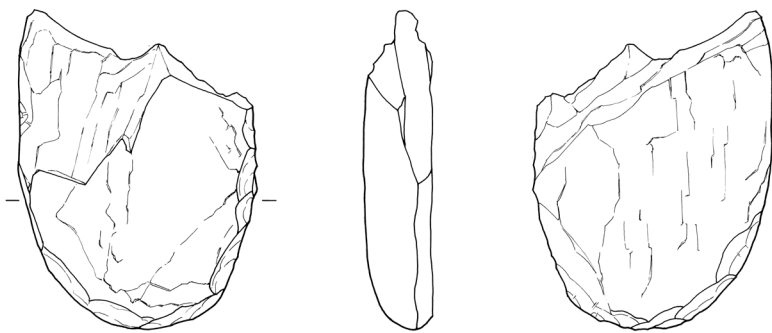
第25図 127~130 アミダ遺跡 A包含層出土 石器実測図 (1/2)



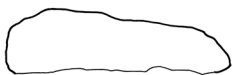
第26図 131 アミダ遺跡 A包含層出土 石器実測図 (1/2) , 132、133 アミダ遺跡 B1号住居址出土 石器実測図 (1/2)



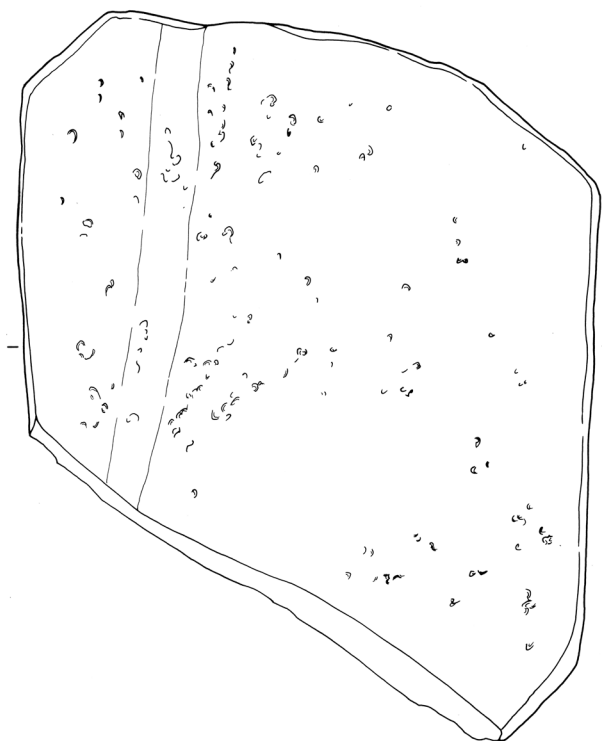
第27図 134~138 アミダ遺跡 B1号住居址出土 石器実測図 (1/2),
 139 アミダ遺跡 B3号住居址出土 石器実測図 (1/2)



140



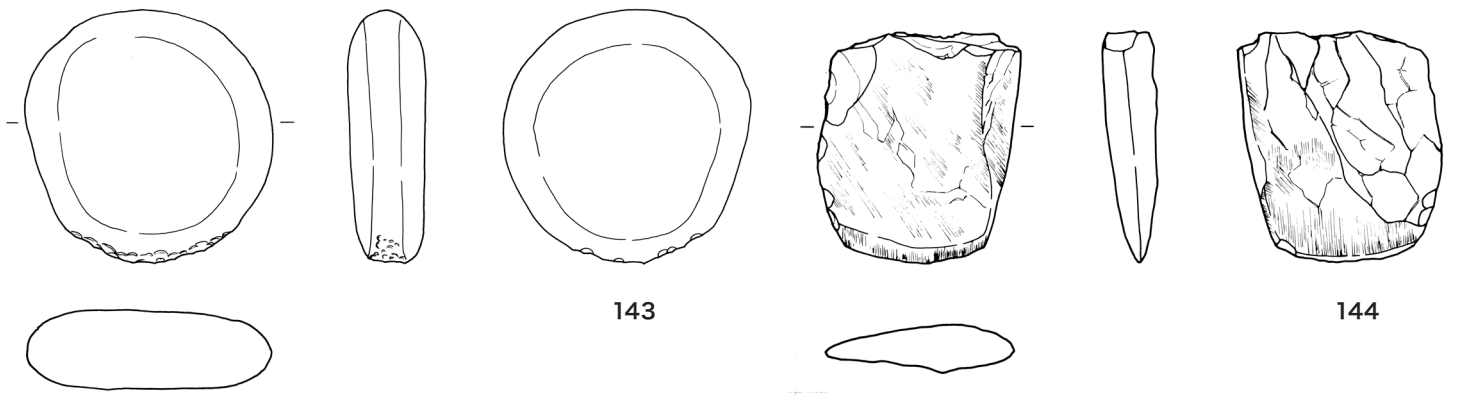
141



142

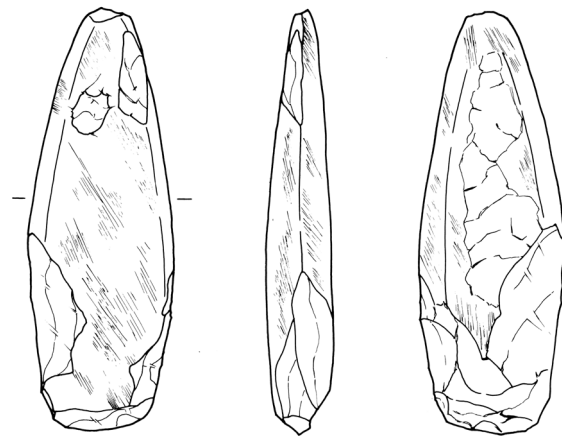


第28図 140 アミダ遺跡 B3号住居址出土 石器実測図 (1/2), 141 アミダ遺跡 B4号住居址出土 石器実測図 (1/2), 142 アミダ遺跡 B6号土坑出土 石器実測図 (1/2)



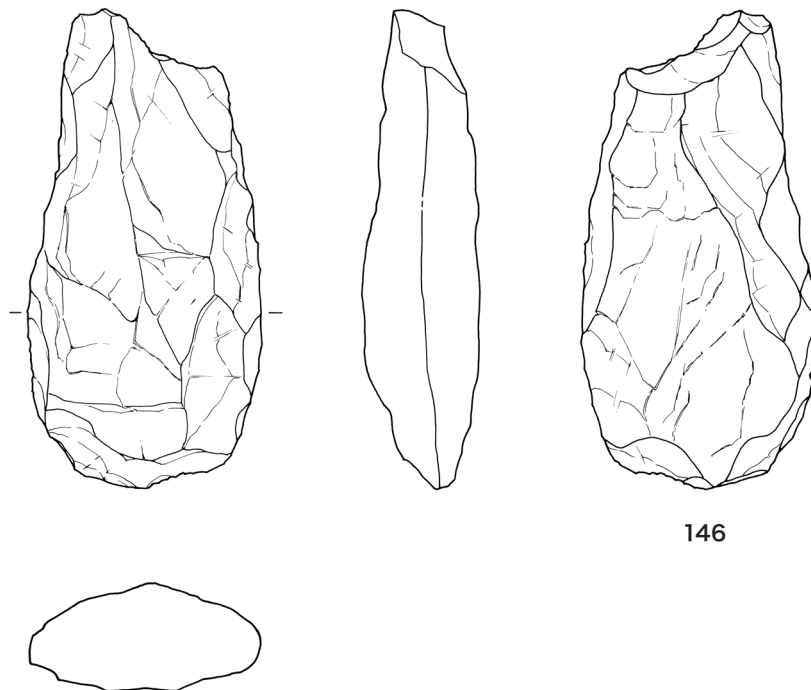
143

144

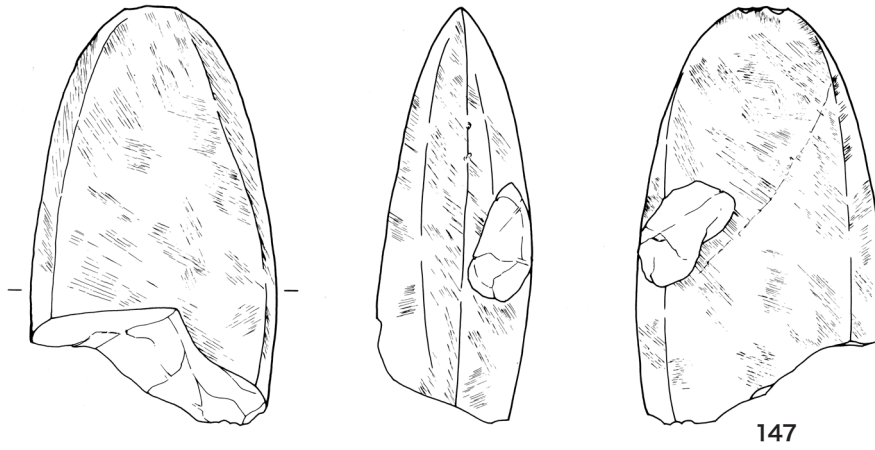


145

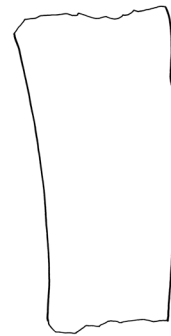
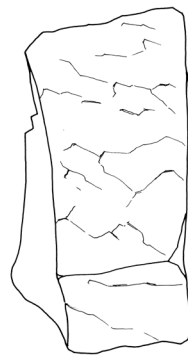
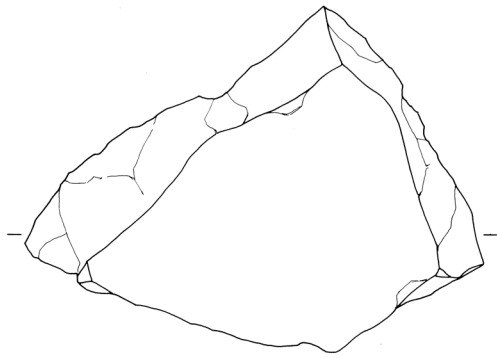
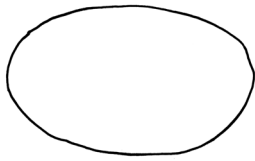
146



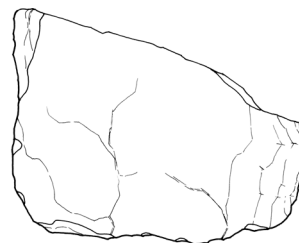
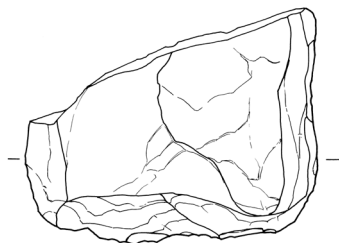
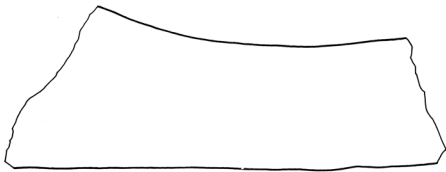
第29図 143、144 アミダ遺跡 B6号土坑出土 石器実測図 (1/2),
145、146 アミダ遺跡 B10号土坑出土 石器実測図 (1/2)



147



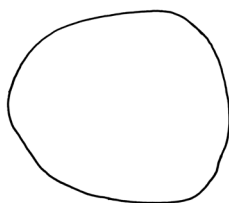
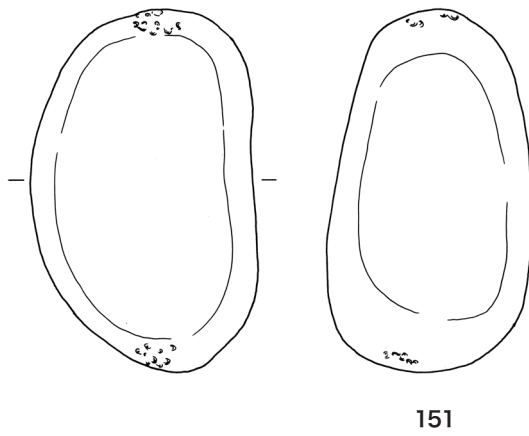
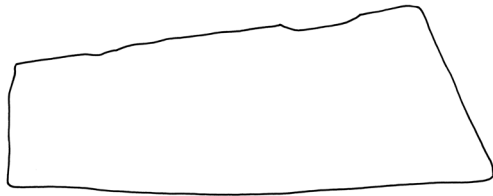
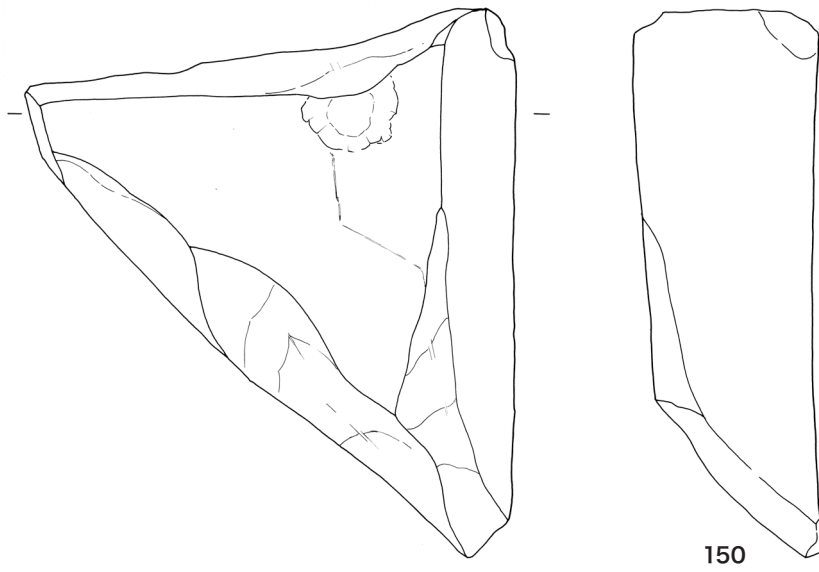
148



149



第30図 147~149 アミダ遺跡 B12号土坑出土 石器実測図 (1/2)



第31図 150 アミダ遺跡 B12号土坑出土 石器実測図(1/2), 151 アミダ遺跡 B13号土坑出土 石器実測図(1/2)

アミダ遺跡出土石器実測図～資料2～

令和5年度において、アミダ遺跡出土の磨石、敲石、打製石斧、磨製石斧等合計69点の石器を実測図しましたのでこの実測図を公開します。

A1号住居址出土石器(第17図83)

83は円盤状を呈する磨石の破片に2方向に打欠を有するもので磨石破片を再利用した石錘かと考えられる。円弧を示している片面には磨痕を観察する。

A2号住居址出土石器(第17図84, 85)

84は厚さ2cm程を測る扁平な板状を呈する台石の破損個体と考えられる。表面に凹凸を観察するが、岩質に起因するものか加工痕かは判断しがたい。

85は磨石の破損個体で、残存する平面に磨痕を観察する。

A3号住居址出土石器(第17～19図86～100)

86は台石の破損個体と考えられる。一部に磨痕を観察する。87は砥石の破損個体と考えられる。一面に磨痕を観察する。88は石皿若しくは砥石の破損個体と考えられる。側面の2ヵ所で磨痕を観察する。89は磨石で、一部に磨き残しと欠損後の磨を観察する。90は砂岩の磨石の破損個体で、赤褐色を呈する箇所を観察する。91は頂部に凹みを観察する磨石で、この凹みは敲痕によるものか。92は全面に磨痕を観察する磨石。93は表面に凹みを観察する敲石の破損個体と考えられる。94は棒状を呈する磨石若しくは敲石の破損個体で、短辺端部に敲痕と考えられる細かな凹みを、側面の一部に磨痕を観察する。95は打製石斧の破損個体で、一面が片岩の節理に沿って破損している。96は撥形を呈する打製石斧で刃部が一

部欠損している。刃部両面に使用による痕跡と考えられる磨痕を観察する。97は短冊形の打製石斧で、刃部両面に使用による痕跡と考えられる磨痕を観察する。側面形状は僅かな湾曲を呈し、外湾曲面の磨痕が著しい。98は短冊形の打製石斧で、刃部片側面が破損し、磨痕は片側面で観察する。刃端部は磨滅により滑らかである。基部側面の一部に摩滅痕が見られ、緊縛の痕跡と考えられる。99は基端部が破損する打製石斧で、刃部両面に使用による痕跡と考えられる磨痕を観察する。基部の片側側面の一部に磨痕を観察する。100は完形に近いと考える打製石斧で、刃部両面に使用による摩滅痕を観察するが、明瞭な線条痕ではない。

A4号住居址出土石器(第20図101)

101は磨製石斧で刃部及び基部が破損する個体。断面形状は楕円形を呈し厚さ3.5cmを測る。

A5号住居址出土石器(第20図102～104)

102は両端部に敲痕を観察する敲石。敲痕が凹んでいないが石錘未成品とも考えられる。103は破損著しい磨製石斧の破損個体。基部の一部に磨痕を観察する。104は約半分を欠く敲石で、上下の中央部に敲痕を観察する。

A6号住居址出土石器(第20, 21図105, 106)

105は一面に磨痕を観察する砥石の破損個体。106は上下面に磨痕を観察する磨石。

A7号住居址炉跡出土石器(第21図107)

107は上面一ヶ所に敲痕が見られるほかは磨痕を観察する磨石。

A8号住居址出土石器(第21, 22図108～111)

108は側面に敲痕、局所的に磨痕が観察されることから磨石・敲石とする。109は全周に磨痕が観察される磨石の破損個体。110、

111は扁平な長方形を呈する板状の石器で、石材は砂岩である。端部の一部に磨痕を観察する事から磨石と判断する。

A9号住居址出土石器(第22図112)

112は両端部に明瞭な凹は見られないが、打ち欠いていることから石錘と判断する。

A12号住居址出土石器(第22図113)

113は底面及び上面に磨痕を、側面と上面の一か所に敲痕を観察する事から磨石・敲石とする。

A1号土坑出土石器(第22図114)

114は丸い棒状の形状を呈し側面に磨痕を、端部面に敲痕を観察する事から磨石・敲石とする。

A2号土坑出土石器(第22,23図115,116)

115は上下面に磨痕、端部面に敲痕を観察する事から磨石・敲石とする。116は磨製石斧の破損個体。

A20号土坑出土石器(第23図117,118)

117は断面3角形を呈しその一辺に磨痕が見られる。磨痕の反対側ははげたように割れている。端部が赤褐色を呈し被熱痕と考えられる。118は長方形を呈する打製石斧と考えるが、刃端部に使用痕は見られない。わずかに内湾気味となる片側の側面で調整痕を観察することから刃部つくり出しの可能性もある。これと反対側の側面に調整剥離痕は見られずまた、側面の中央部に磨った方向は確認できないが磨耗痕を暗殺する。

A45号土坑出土石器(第23図119)

119は刃部と基部の一部を研磨している局所磨製石斧。刃部の磨痕には研磨痕以外に使用痕が残っている可能性もある。

A包含層出土石器(第23~26図120~131)

120~126は石錘、127~130は石製円盤、

131は磨製石斧である。

120は両面の中央部が凹み、紐ずれ痕と考えられる。被熱によるものかやや赤みを帯びている。121は全体的に擦れていて、打ち欠きの度合いが異なっている。122の打ち欠きの位置は円周上の対面よりずれ紐ずれしているように見られる。123の打ち欠きは片方だけ凹み、他方には凹みが見られない。124,125の打ち欠きは対面上に位置しわずかな凹みが見られる。126の打ち欠きは対面上に位置している。石材は花崗岩である。127は1/3程欠損している個体で側面には摩滅痕が見れ、一部欠損または打ち欠きの部分がある。128は側面の2ヵ所で磨耗痕が見られる。129,130は不整円形を呈し側面の一部に打ち欠きが見られる。131の断面形状が片側のみ水平で片側の平面に片岩の節理にそった剥離面を観察することから、磨製石斧の破損個体を再研磨し刃部を両面に施した再生磨製石斧。

B1号住居址出土石器(第26,27図132~138)

132は厚さ3cmを測り、中央部分に凹みがある石皿の破損個体と考える。133,134は側面に敲痕を、上下面に磨痕がある磨石・敲石の破損個体。135は撥形で厚さ1cmを測る磨製石斧で刃部を破損。136は上面の一面に摩痕が見られる磨石で2ヵ所に欠損が見られる。137は砥石の破損個体で上面の一面に磨痕が見られる。138は上下の面が片岩の節理により剥落した破片で、端部の一部に研磨痕が残ることから磨製石斧の破損個体若しくは未成品と考える。

B3号住居址出土石器(第27,28図139,140)

139は敲打段階で刃部が破損した磨製石斧の未成品と考える。140は片岩の節理により一面が剥落した打製石斧の破損個体。

B4 号住居址出土石器(第 28 図 141)

141 の平面は方形を、側面はくさび型を呈する磨製石斧で、刃部は水平である。

B6 号土坑出土石器(第 28, 29 図 142~144)

142 は厚さ 1.75cm を測る台石で、欠損している一部の面を除いて側面を整えている。

143 は敲石で、側面の一か所に敲痕が明瞭に見られる。上下面には磨痕が観察される。

144 は基部側面の破損個所を再研磨し、刃部両面には刃部と直交方向に線條痕、使用痕が見られ表裏で線條痕の深さが異なる。

B10 号土坑出土石器(第 29 図 145, 146)

145 は刃部と基部側面を破損する磨製石斧で斜め方向の研磨痕が見られる。146 は打製石斧で、片側側面にやや磨滅痕が見られるが、刃部等に明瞭な使用痕は見られない。

B12 号土坑出土石器(第 30, 31 図 147~150)

147 は刃部が破損する磨製石斧で、基端部は尖っている。全周に丁寧な研磨が施されている。148 は上面が内湾する石皿の破損個体で厚さ 4.3cm を測る。上下面に磨痕が見られる。149 は基部と節理により剥落した打製石斧の刃部付近の破損個体。150 は厚さ 4.7cm を測る台石の破損個体。

B13 号土坑出土石器(第 31 図 151)

151 は側面の上下端の 2 ヲ所に敲痕があり、全周に磨痕がみられる磨石・敲石。

アミダ遺跡出土の掲載した石器の法量等一覧表

掲載No.	登録No.	遺跡名	調査地点	遺構等	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	石材	備考
83	2867	アミダ	A	1号住居址	石錘?	6.45	5.35	1.20	砂岩	磨石の破損品を石錘に再利用か
84	2848	アミダ	A	2号住居址	台石	6.90	6.65	2.25	砂岩	表面に凸凹が見られる
85	2866	アミダ	A	2号住居址	磨石	5.80	7.55	1.60	砂岩	破損著しい
86	2846	アミダ	A	3号住居址	台石	12.35	11.25	2.00	砂岩	
87	2850	アミダ	A	3号住居址	砥石	5.10	6.60	1.65	泥質岩	
88	2851	アミダ	A	3号住居址	石皿?砥石?	8.15	14.40	2.35	花崗岩	破片で2か所磨り面あり
89	2853	アミダ	A	3号住居址	磨石	12.20	10.15	5.20	砂岩	
90	2855	アミダ	A	3号住居址	磨石	8.90	5.95	5.80	砂岩	赤色顔料?
91	2859	アミダ	A	3号住居址	磨石	7.20	6.50	3.15	砂岩	
92	2862	アミダ	A	3号住居址	磨石	6.20	5.85	4.40	砂岩	
93	2865	アミダ	A	3号住居址	敲石	2.10	6.00	4.85	砂岩	破損著しい
94	2873	アミダ	A	3号住居址	磨石・敲石?	10.70	4.15	2.55	砂岩	棒状、磨製石斧としては違和感
95	3103	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	8.50	6.50	1.95	片岩	
96	3109	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	11.50	4.75	1.20	片岩	
97	3110	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	9.95	4.65	0.65	片岩	
98	3111	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	11.45	4.70	1.15	片岩	
99	3112	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	12.40	4.90	1.15	片岩	
100	3113	アミダ	A	3号住居址	打製石斧	12.90	5.40	1.40	片岩	
101	2843	アミダ	A	4号住居址	磨製石斧	13.40	7.10	3.50	片岩	ずっしり
102	2864	アミダ	A	5号住居址	敲石	5.90	5.30	2.05	砂岩	石錘の可能性も
103	2874	アミダ	A	5号住居址	磨製石斧	10.10	3.85	2.65	片岩	破損著しい
104	2856	アミダ	A	5号住居址	敲石	5.40	8.20	5.50	砂岩	
105	2849	アミダ	A	6号住居址	砥石	8.40	6.95	2.15	泥質岩	
106	2852	アミダ	A	6号住居址	磨石	8.40	6.80	4.55	泥質岩	
107	2854	アミダ	A	7号住居址炉跡	磨石	8.80	6.35	5.10	砂岩	
108	2860	アミダ	A	8号住居址	磨石・敲石	7.15	9.75	4.90	砂岩	
109	2861	アミダ	A	8号住居址	磨石	4.35	10.25	3.80	砂岩	
110	2870	アミダ	A	8号住居址	磨石?	11.25	5.20	1.85	砂岩	磨製石斧としては違和感
111	2871	アミダ	A	8号住居址	磨石?	11.20	4.30	1.30	砂岩	磨製石斧としては違和感
112	2876	アミダ	A	9号住居址	石錘?	6.50	4.60	1.20	砂岩	
113	2863	アミダ	A	12号住居址	磨石・敲石	5.65	5.70	2.30	砂岩	
114	1909	アミダ	A	1号土坑	礫	10.70	4.80	3.55		柱状の礫
115	1910	アミダ	A	2号土坑	円礫	7.50	12.80	7.60	花崗岩?	円礫1/2欠損
116	2878	アミダ	A	2号土坑	磨製石斧?	4.95	5.25	0.60	片岩	磨製石斧未成品の破損剥離?

掲載 No.	登録 No	遺跡名	調査 地点	遺構等	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	石材	備考
117	1946	アミダ	A	20号土坑	敲石	9.25	5.45	4.55	砂岩	8×5×5 柱状の礫
118	2841	アミダ	A	20号土坑	打製石斧	12.60	6.60	1.05	泥質岩	
119	2311	アミダ	A	45号土坑	打製石斧	10.80	4.70	1.10	片岩	刃部に使用痕 報告書第59図24
120	2119	アミダ	A	包含層	石錘	4.60	4.30	1.85	砂岩	長辺側に打ち欠き 表面に糸摺れ有り
121	2120	アミダ	A	包含層	石錘	4.20	3.60	1.30	砂岩	長辺側2ヶ所に敲打痕有り
122	2121	アミダ	A	包含層	石錘	5.10	4.85	1.45	砂岩	2ヶ所に打ち欠き有
123	2122	アミダ	A	包含層	石錘	6.10	5.50	1.35	頁岩	2ヶ所打ち欠き
124	2123	アミダ	A	包含層	石錘	6.60	5.80	1.80	砂岩?	2ヶ所打ち欠き
125	2124	アミダ	A	包含層	石錘	6.75	6.80	2.40	砂岩?	2ヶ所打ち欠き
126	2125	アミダ	A	包含層	石錘	9.80	7.70	2.50	花崗岩	不整形 2ヶ所打ち欠き
127	2126	アミダ	A	包含層	石製円盤	9.35	6.70	1.10	片岩	端部に敲打痕と摩滅若しくは研磨痕?
128	2127	アミダ	A	包含層	石製円盤	6.65	6.80	1.10		端部に敲打痕と摩滅若しくは研磨痕?
129	2129	アミダ	A	包含層	石製円盤	7.85	8.25	1.45	片岩	不整形 端部摩滅、1ヶ所打ち欠き
130	2130	アミダ	A	包含層	石製円盤	8.90	8.30	2.45	片岩	不整形 端部摩滅、1ヶ所打ち欠き
131	2868	アミダ	A	包含層	磨製石斧	8.95	4.55	1.00	片岩	
132	2847	アミダ	B	1号住居址	石皿	15.80	15.80	3.00	砂岩	
133	2857	アミダ	B	1号住居址	磨石・敲石	7.20	8.50	5.00	砂岩	側面を敲石として利用
134	2858	アミダ	B	1号住居址	磨石・敲石	7.60	9.60	4.05	砂岩	側面を敲石として利用
135	2869	アミダ	B	1号住居址	磨製石斧	10.40	4.90	1.00	片岩	
136	2913	アミダ	B	1号住居址	磨石	7.60	6.75	2.20	花崗岩?	
137	2914	アミダ	B	1号住居址	砥石	5.30	7.60	2.15	泥質岩	
138	2915	アミダ	B	1号住居址	磨製石斧?	7.55	4.55	0.80	片岩	磨製石斧未成品の破損剥離?
139	2872	アミダ	B	3号住居址	磨製石斧	10.25	6.60	3.50	片岩	未成品
140	3104	アミダ	B	3号住居址	打製石斧	8.40	6.35	1.70	片岩	
141	2842	アミダ	B	4号住居址	磨製石斧	7.70	4.90	1.25	泥質岩	報告書第61図44
142	1918	アミダ	B	6号土坑	台石	17.20	15.40	1.75	砂岩	側面を整えている
143	1921	アミダ	B	6号土坑	敲石	6.70	6.45	2.10	砂岩	側面1ヶ所に敲打痕
144	2875	アミダ	B	6号土坑	磨製石斧	6.10	5.40	1.25	片岩	破損後に研ぎ直し 報告書第59図21
145	1944	アミダ	B	10号土坑	磨製石斧	11.15	3.80	1.50	片岩	刃部破損 報告書第59図26
146	2886	アミダ	B	10号土坑	打製石斧	12.65	6.20	2.85	片岩	厚くて重い
147	1943	アミダ	B	12号土坑	磨製石斧	10.50	6.50	3.95	片岩	刃部破損
148	2845	アミダ	B	12号土坑	石皿	9.10	12.10	4.30	砂岩	報告書第62図54
149	2906	アミダ	B	12号土坑	打製石斧	6.25	7.75	1.30	片岩	
150	1938	アミダ	B	12号土坑	台石	14.50	13.00	4.70	砂岩	

アミダ遺跡 出土石器 資料 II

嘉麻市教育委員会